

「電磁界解析高度利用技術」

概要：近年、電磁界解析技術は計算機技術の進化とともに飛躍的な発展を遂げ、現在でも電磁界数値解析技術に関する研究開発が精力的に進められ、これまで無視していたような現象も解析に組み込む努力がなされています。本フォーラムは、「電磁界解析高度利用技術調査専門委員会」（設置期間：2010年4月～2013年3月）で調査した最近の電磁界解析技術についてまとめた技術報告第1317号「電磁界解析高度利用技術」の内容をわかりやすく解説いたします。電磁界解析にかかわる研究者、技術者、学生等の皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。なお、本技術報告に関するフォーラムは今回1回限りの開催になります。

日時：平成26年11月18日(火) 12:55～17:15

会場：早稲田大学西早稲田キャンパス 55S号館 2階 第三会議室

〒169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1

地下鉄東京メトロ副都心線 西早稲田駅(出口3)キャンパスに直結

<http://www.sci.waseda.ac.jp/campus/index.html>

プログラム：

- | | | |
|-----------------|--------------------------|-------------|
| 1. 12:55～13:00 | 総論（技術報告概要） | 宮田健治（日立製作所） |
| 2. 13:00～13:30 | 磁気特性モデリング技術（応力依存性、磁気異方性） | 高橋康人（同志社大学） |
| 3. 13:30～14:00 | 最適化技術 | 五十嵐一（北海道大学） |
| 4. 14:00～14:30 | 電磁界解析における定常解高速求解法 | 高橋康人（同志社大学） |
| 5. 14:30～15:00 | ICCG法の実用的実装法 | 岡本吉史（宇都宮大学） |
| | 休憩 | |
| 6. 15:10～15:40 | ヒステリシス磁界解析の実用化 | 松尾哲司（京都大学） |
| 7. 15:40～16:10 | 電磁界解析の高度利用技術に残された課題 | 徳増 正（東芝） |
| 8. 16:10～16:40 | 右辺項の正則化処理法 | 美船 健（京都大学） |
| 9. 16:40～17:10 | 回路連成解析法 | 宮田健治（日立製作所） |
| 10. 17:10～17:15 | 閉会挨拶 | |

テキスト：電気学会技術報告第1317号「電磁界解析高度利用技術」（2014年9月発行、定価4,860円）をテキストとして使用します。なお、希望者には特別価格（会員：3,500円、非会員：4,000円）にて頒布しますので、お申し込み時にその旨を記載ください。

参加費：

会員(正員)	¥6,000-	(不課税)	非会員(一般)	¥8,000-	(税込)
会員(准・学生員)	¥3,000-	(不課税)	非会員(学生)	¥4,000-	(税込)

(参加費にテキスト代は含まれておりません)

申込方法：下記いずれかの方法より、お申し込みください。

○ホームページからのお申込み：<http://www.iee.or.jp/forum.html>

○電子メール、または FAX でのお申込み：「電力・エネルギーフォーラム「電磁界解析高度利用技術」参加申し込み」と題記し、会員／非会員の別、氏名、所属、連絡先（住所、電話、ファックス、電子メール）、テキストの要・不要の別をご記入の上、11月7日(金)までに下記へお申し込みください（定員80名に達し次第、締め切らせていただきます）。

株式会社 日立製作所 宮田健治

TEL：0294-52-5111 FAX：0294-52-7647, e-mail：[kenji.miyata.fv\(at\)hitachi.com](mailto:kenji.miyata.fv(at)hitachi.com)

(注：(at)を@に置き換えて送信)

参加費支払い方法：参加費は当日に現金でお支払い願います。領収書は原則としてフォーラム当日の日付で会場渡しとなりますが、その他のご指示がある場合は申込時にご連絡ください。

主催：電気学会 電力・エネルギー部門 静止器技術委員会（小林委員長）

協賛：電気学会 産業応用部門 回転機技術委員会（深見委員長）